

内視鏡センター



検査部門



最新の技術と看護実践

検査部門では、上部／下部内視鏡検査、小腸内視鏡検査、胆膵内視鏡検査、気管支鏡検査を行っています。消化器内科・呼吸器内科の医師とともに、内視鏡技師を含む看護師7名体制で日々の看護を行っています。検査に伴う苦痛や合併症を最小限に抑え、安全かつ信頼のける内視鏡検査を行うことができるよう、チームを組み、看護を実践しています。



「早く、きれいに治す」内視鏡治療

治療部門

近年の高齢化に伴い、内視鏡による低侵襲な治療が近年増加傾向にあります。

治療部門では、「食道静脈瘤硬化療法/結紮術」「内視鏡的粘膜下層剥離術」「内視鏡的結石除去術」「内視鏡的ステント留置術」「大腸ポリープ切除術」「内視鏡的止血術」などの内視鏡治療を、年間約 件行っています。

県内の救急医療を担う基幹病院の一つである当院では、緊急内視鏡の必要性がある患者さんが運ばれてくるケースも多く、5B病棟との一元化を図り、24時間切れ目のない内視鏡看護を実践できるよう、スタッフの教育にも力を入れています。

